

事業番号	02 10 02	事業改善シート（令和6年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	鉄道振興対策事業費	部局	企画振興部	課・室	交通政策課	
		実施期間	S42 ～	E-mail	kotsu @ pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題

・県内地域鉄道事業者は、新型コロナウイルス感染症の影響から回復しつつあるものの、令和4年度においてもなお全社が赤字決算であり、依然厳しい経営環境にあることから、行政として、安全・安定運行の維持のための設備投資への十分な支援が急務。
 ・北陸新幹線については、大阪までの全線開業によって整備効果が完全に発揮されることとなり、県民の利便性向上に加え、経済・観光等に大きな効果が期待されるが、敦賀～新大阪間は未着工の状態。

2 事業目的

・鉄道の安全・安定運行を維持する等の取組を支援し、県民の移動と地域間交流の手段を確保する。
 ・県民が北陸新幹線の開業効果を享受するため、北陸新幹線の早期全線開業を促進する。

3 事業目的を達成するための取組

- ① **県内鉄道における安全・安定運行の維持と利便性の向上**
 ・地域鉄道の利便性向上・利用促進のため、交通系ICカード導入に対して補助を実施
 ・地域鉄道安全性向上支援事業（当初予算）の事業費確定による減額
 ※その他の事業は当初予算、6月補正及び1月補正のとおり
- ② **北陸新幹線の建設促進**
 ・当初予算のとおり
- ③ **特別高圧受電事業者電気料金負担軽減事業**
 ・1月補正のとおり

4 成果指標

(推移の凡例 ↗ : 改善 ↘ : 悪化 → : 変化なし — : 数値なし)

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	鉄道利用者数	千人	51,603 (R2実績)	52,974 (R3実績)	↗	58,218 (R4実績)	↗	59,886	△	県民の移動と地域間交流を支える鉄道の活性化を図るため、鉄道の利用者数を指標として設定し、利用状況を踏まえて目標値を設定	
②	鉄道施設の老朽化、設備不良に起因する重大事故の発生	件	0	0	→	0	→	0	△	鉄道の安全・安定運行を維持するため、重大事故の発生件数を成果指標に設定し、発生させないよう目標値を設定	
③	平均利用者数が3,000人/日以上等の駅におけるエレベーター等整備率	%	94.4	94.4	→	94.4	→	100	△	国の基本方針で令和7年度末までにバリアフリー化する基準に該当する駅について、令和6年度末までの整備率100%を目指し目標値を設定	

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 (★印が付いているものは主要目標)	単位	直近3か年の状況						目標	
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値
1-4①	公共交通の充実をはじめ移動の利便性・快適性の向上	★公共交通機関利用者数	千人	2020 (R2)	69,077	2021 (R3)	72,438	2022 (R4)	82,180	2026 (R8)	100,000

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額				合計 (予算現額)	うち一般財源	決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	うち今回補正額				
R6年度	64,583	474,243	677,080	528,139	1,215,906	465,945	△	4.0
R5年度	91,415	506,450	88,791	△	686,656	310,082	593,384	3.0
R4年度	108,292	382,028	148,786	△	639,106	304,106	542,356	3.0

事業名	鉄道振興対策事業費	部局	企画振興部 交通政策局	課・室	交通政策課
-----	-----------	----	----------------	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R4年度 予算現額	R5年度 予算現額	R6年度 予算	
1	鉄道振興対策事業費	637,306 千円	684,856 千円	予算現額 1,214,106 うち今回 528,139 補正額 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)		
1	地域鉄道安全性向上支援事業補助金	補助金	鉄道路線の安全性向上のため、必要な設備整備に対して補助を実施 (事業費確定による減額) 補助額: 521,725千円(木マクラギコンクリート化、車両更新4両分、変電所更新等)		
2	利用者にやさしい駅舎の整備事業補助金	補助金	鉄道駅のバリアフリー化を推進するため、事業者が実施するスロープ設置等の事業に対し補助を実施 補助額: 9,900千円(3駅における内方線付き点状ブロック、スロープ設置等)		
3	大糸線利用促進輸送強化期成同盟会負担金	負担金	大糸線利用促進輸送強化期成同盟会の構成員として、要望活動、啓発、広報、利用促進活動を実施 総会・要望活動の実施: 各1回		
4	中央東線高速化促進広域期成同盟会負担金	負担金	中央東線の高速化促進、利便性向上、沿線地域の振興を目的に関係団体と連携・協力し事業を実施 総会・要望活動の実施: 各1回		
5	大糸線活性化協議会負担金	負担金	大糸線活性化協議会の構成員として、啓発、広報、利用促進活動を実施 総会開催: 1回 活性化事業の実施: 定期券購入費助成10名以上、企画列車3回運行等		
6	大糸線利用促進事業	負担金	・令和6年3月の北陸新幹線の敦賀延伸を契機としてJR大糸線の本格的な利用促進に取り組むため、沿線市町村とともに旅行商品の造成等を実施 ・利便性の向上と潜在需要の確認のため、バスによる臨時増便の実証事業と、それに伴う利用実態調査を実施 ・JR大糸線(南小谷-糸魚川間)の輸送密度: 108人/日(2022年度)→130人/日(2024年度) ・バス便数: 18便(2023年度)→26便(2024年度)		
7	地域資源を活用した小海線利用促進事業	委託	JR小海線の維持・発展を図るため、地域資源を活用した利用促進の取組を実施(県民参加型予算) 登山、自転車等のアウトドアアクティビティ利用者向け列車の利用者数: 900人 沿線の魅力を紹介する小冊子の配布部数: 3,000部		
8	特別高圧受電事業者電気料金負担軽減事業補助金	補助金	原油価格高騰等の影響による経費負担を軽減するため、特別高圧を契約する地域鉄道事業者に対し、電気の使用実績等に応じた支援金を支給 補助対象: 2者、補助額: 13,961千円		
9	地域鉄道交通系ICカード導入支援事業補助金	補助金	地域鉄道の利便性向上・利用促進のため、地域鉄道事業者が実施する交通系ICカード導入に対して補助を実施 補助対象: 2者、補助額: 576,472千円		

細事業 No.	細事業名		R4年度 予算現額	R5年度 予算現額	R6年度 予算
2	北陸新幹線建設促進費		1,800 千円	1,800 千円	1,800 0 千円 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	北陸新幹線建設促進同盟会負担金	負担金	同盟会が建設促進等に係る国等への要請活動、建設促進に関する調査研究及び 広報等を実施 総会開催、要望活動を3回実施		

細事業 No.	細事業名		R4年度 予算現額	R5年度 予算現額	R6年度 予算
3	しなの鉄道設備投資等借入金損失補償		債務負担行為 （元金 1,330,000千 円+利息） 千円	債務負担行為 （元金 1,000,000千 円+利息） 千円	債務負担行為 （元金 970,000千円 +利息） 0 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	しなの鉄道設備投資資金等借入金 損失補償	直接	しなの鉄道の設備投資資金等借入金の金利負担を軽減するため、県が金融機関 に対し損失補償を実施 元金970,000千円及びその利息に対して、損失補償を実施		